

バス停からの 小さな旅



08

「加茂野コミュニティセンター東(あまちの森) しょうよう線」から加茂野の大池を散歩する



▲自然が残されている大池

市の西部・加茂野町は、大きな川のない台地の上にあります。昔から住民たちは田に水を引くためにため池を掘り、その水で農作物を育てていました。

江戸時代以降に、鷹之巣地区の天乳池あまちいけと瓢箪池ひょうたんいけ、稲辺地区の稲葉池、加茂野地区の大池、木野地区の木野池、今泉地区の三ツ池が築かれました。

その中の大池には、豊作の神様である弁財天べんざいてんがまつられており、毎年7月には水に感謝をして豊作を願う「池まつり」が行われています。たくさんのおうちんに飾られたいかだが池の中央にこぎ出され、池は幻想的な空気に包まれます。

昔から伝わる池の物語を感じながら、自然の残る池のほつりを散策してみたいかがでしょうか。

【参考文献】

- ・加茂野町まちづくり協議会
- ・「加茂野町の発展のすがた」年表で見える近現代史 明治から150年」
- ・みのかも文化の森ホームページ
- ・「美濃加茂事典」



今回乗車したバス

行き…あまちの森・しょうよう線 左回り3便
 帰り…あまちの森・しょうよう線 右回り4便

09時18分 美濃太田駅南口
 10時12分 加茂野コミュニティセンター東
 大池の周りを散策。
 11時12分 加茂野コミュニティセンター東
 バス車内から瓢箪池、天乳池を眺める。
 12時08分 美濃太田駅南口



▲大池にて撮影されたもの (昭和12年7月16日)個人蔵